



2022年度2月号 尚徳福祉会 生麦保育園

あっという間に2月ですね。寒さが厳しい中でも、子どもたちは元気いっぱい！2月は節分と異年齢交流のなかよし会があります。鬼が来ることを楽しみにする姿もありますが、鬼の話をしたときの子どもたちの表情を見ると少しドキドキしている様子です。なかよし会では、ニコニコマングループで行動したり遊んだりするので、きりん組やぞう組のお兄さん、お姉さんとの関わりを楽しんだりリーダーシップを取ってもらったりして沢山の刺激を受けて成長して欲しいなと思います。



## 鬼のお面制作

「今日、鬼来るの？」と保育者に聞いたり「鬼は外～福は内～♪」「鬼のパンツはいいパンツ～♪」と楽しく歌を歌ったりしています。鬼のお面作りでは、絵の具を使ってデカルコマニーという技法をしました。子どもたちの大好きな絵の具遊び、今回も大喜びで夢中になって好きな色を紙に塗っていました。左右で同じ模様ができる「可愛い」「かっこいいよ」「強そうになった」などと出来上がった物を見て、嬉しそうに言っていました。鬼の口と牙は形に沿って子どもたちが切りました！日頃からハサミ遊びをしていることもあり、口の丸い形や牙の三角の形を上手に切り「できたよー！」と得意気でした。中には、「どうやってやるの？」「難しい」という子もいましたが、保育者と一緒に切ると上手に手を動かしていました。後日、顔のパーツをのりで貼りペンで目や角の模様を描くように伝えると、塗り絵が好きな子は塗り絵のように色を塗ってカラフルにしたり、単色が好きな子は単色で仕上げたりと様々でした。鬼のお面を付けて、鬼をやっつける日が楽しみです。

## お当番活動

保育者のお手伝いを喜んでしているうさぎ組の子どもたち、「〇〇お願い」と伝えると責任を持ってお手伝いをしてくれてとても助かります。4月の様子を思い出すと、自分でできることや保育者を助けてくれることも増え本当に子どもたちの成長を感じます。もうすぐきりん組！ということで簡単なお当番活動を始めました。お当番は日替わりで毎日変わります。給食の前後にティッシュを準備したり、給食後に雑巾掛けをしたりしています。お当番活動を通して自分の為だけでなく、友だちの為に行動したり、自分の役割を理解して楽しんで行ったりする姿が育ってほしいなと思います。

## ヒヤシンス

ヒヤシンスの花を毎日観察したり、毎週金曜日には保育者と一緒に水を取り換えたりしてヒヤシンスを育てることや生長を楽しみにしています。根っこから白いひげ根が伸びてくると「見て、いっぱいになってきたよ」「おひげみたい」と話をして笑い合う姿や芽が大きくなる様子を見て「ちょっと大きくなった」と気付く姿もありました。子どもたちはヒヤシンスの生長をよく見ているので、保育者にもいろいろと教えてくれます。早いもので1月中には花が咲き、すぐに気が付いた子どもたち。「見てー！花が咲いてる、ピンクだよ！」と保育者に伝え大喜びでした。咲いた花を見て優しく大事に触れていました。

## お願い

身支度や片付けをする時に時間がかかったり、甘えたくて手伝ってほしい時もあったりすると思いますが、きりん組に向けて自分でできることはなるべく自分でするように伝え見守っています。保護者の方にもお子さまに自分でできるように声を掛けたり見守ったりしていただくと助かります。よろしくお願いいたします。